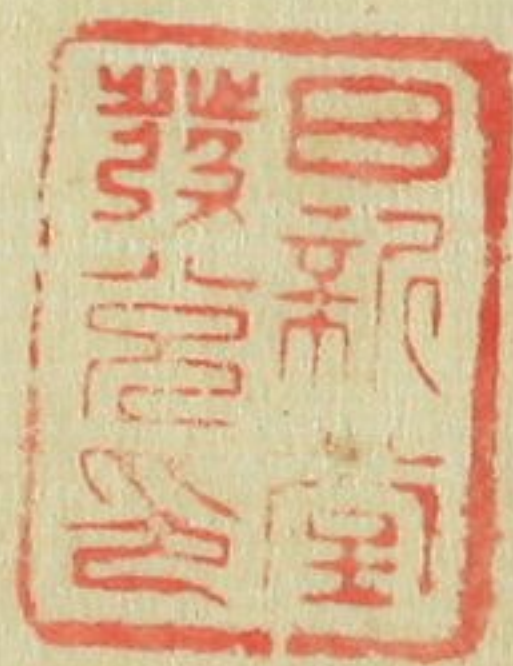


新聞雜誌

明治壬申八月

第五十七號

定價三匁



特	別
18	
787	
57	



緒言

凡天下ノ物事日ニ新ナルニ我未タ見聞セサルヲ知テ吾知識ヲ廣ムルヨリ
 樂シキハナシ見聞ノ狭キ田舎人ハ心頑ニ知暗シテ疑懼トシ多ク竟ニ我ヲ
 是トシ人ヲ非トスルノ過アリ今日カハ辱キ 御代ニ逢ヒテモ遠境ノ人ハ
 大政ノサマノモ知ラデ却テ疑非ル者モアルベシカクテハ逢カ多キ世ニ生レシカヒ
 ノ今 官許ヲ受テ新聞私局ヲ開キ 大政ヲ始ノ諸府諸縣ノ變革
 又ハ里巷ノ瑣事外國ノ異聞マテ見聞ニ隨ヒ刊行スルハ我 日本國中
 ノ人々ト新知ヲ開ク樂ヲ同シ頑ル心僻ノ事ヲ棄テ 願ハ此冊子
 ヲ讀ムフ人々ヲ聞テニ推シ進ヲ知テ遠ヲ察シ天地間ニ我意外ノ驚可ク
 喜可キ事多ク唯一隅ヲ見ル田舎人多ク免レ入夏虫氷ヲ疑ノ人有リト知
 至ハサコノ復古ノ 大御代ニ生レシタルニ負カシト云ヘク

新聞雜誌第五十七號 明治五年壬申

○今般學校改稱左ノ通り文部省ヨリ御達シアリタリ
 東校 第一大學區醫學校ト改稱
 南校 第一大學區第一番中學ト改稱
 大坂開成所第四大學區第一番中學ト改稱
 長崎廣運館第六大學區第一番中學ト改稱
 ○八月二日文部省常盤橋内舊津縣邸へ引移相成タリ
 ○今般工部省ヨリ左ノ通り航海者へ布告アリタリ
 一日本政府布告ス志摩國の失港安察崎へ建置セル燈

新聞雜誌 第五十七號

明臺ニ於テ本器械ノ點燈迄仮燈明ヲ設ケ明治五年七月廿九日西曆千八百七十二年第九月一日ノ夜ヲ始トシテ爾後毎夜日没ヨリ日出ニ至ル迄點燈ス

一燈臺ノ位置及燈明ノ光景ハ左ニ詳記スルモノナリ
明治五年七月八日西曆千八百七十二年第八月七日

工部省分局横濱燈明臺辨天燈明臺

工部省三等出仕兼燈明臺頭佐野常民

一 的失燈臺ハ的失港口ノ南方安察崎ノ極東ニ建置ス此地ハ北緯三十四度二十一分五十五秒ニシテ英國リー井ツキヨリ東徑百三十六度五十四分四十四秒ニ

アタル

一 燈臺ハ白色八角木造ニテ燈臺ノ中央迄高廿三丈六尺ナリ

一 燈明ハ不動白色ニシテ海面三百度即チ南三十三度ヨリ東ヲ廻リ北八十七度西迄ノ方位ヲ照輝シ其他ハ蔽陰ス但右ハ真方位ナリ

一 燈火ハ高廿海面ヨリ十丈二尺ニシテ其光線九十里海上ニ達ス
築造方補負
ステルリンクフェイスシエル

○八月五日伏見一品宮薨去ニ付三日ノ間歌舞音曲停止ノ旨御布令アリタリ

○近來府下神佛ノ開帳數十ヶ處アリ何講何連ト稱フ
 ル者日ヲ追テ群集シ太鼓ヲ鳴ラシ鈴ヲ振リ皆一樣ノ
 浴衣ヲ著シ旗ヲ押立テ市中ヲ徘徊シ甚シキニ至リテ
 ハ家産ヲ傾ケ妻子ヲ賣リ其費用ニ宛ル者モアル由此
 節府下木綿ノ相場高價ニナリジハ全ク開帳ノ盛ナル
 故ナリト云ヘリ又一日川施餓鬼ト唱ヘ兩國橋下へ數
 千艘ノ船ヲ浮ヘ數萬ノ講中題目ヲ唱フ其雜選恰カモ
 同處烟火ノ時ノ如シ抑京都府ニテ盂蘭盆會精霊祭或
 ハ川施餓鬼歌念佛等謂レナキ事ニシテ却テ人民生業
 ノ妨ナリトテ一切停止セラレタルニ東京ニテハ神佛

開帳ニ莫太ノ金ヲ費ヤシ發狂ノ体トナリ各其家業ヲ
 妨クル而已ナラス倫理ニ背キ風俗ヲ乱ル實ニ淺間敷
 一ナリト或人語レリ

○小倉縣管下豊前下毛郡中津ノ友人ヨリ來書ノ畧ニ
 七月盆前支廳ヨリ布令アリテ盆前晝夜トモ踏歌勝手
 次第トノ一ニ付盆中ノ賑ハヒ云ニカタナク老少雜選
 男子ニシテ女子ノ飾ヲ著ケ女子亦男子ノ粧ヲナス其
 醜体正視スルニ忍ヒス抑地方官タル者ハ朝廷ノ御趣
 意ヲ体認シ國ニ遊惰ノ民ナク蒙昧ノ子弟ナキ様
 日夜盡力アルヘキニ當縣支廳ニテカ、ル怠惰萎靡ノ

風ヲ增長セシムルハ愈愚婦愚夫ヲシテ蒙昧ヲ開クノ
期ナカラシムルナリ朝旨豈此ニアランヤ然レモ各地
ノ風俗ニ因リテ施政ヲ異ニスルハ地方官治術ヲ施スノ
深意ナラン乎余未タ之ヲ知ラズ他日諸君ノ公論ヲ待
ツノミ云々

○京都府ノ布令ニ人ノ禍福吉凶ハ概子其身ノ行ヒヨ
リ生シ間々不虞ノ変アリト雖モ天命ハ人ノ意想ヲ以
容易ニ是ヲ動シ難シ唯勉勵積徳ノ力或ハ天地ノ災難
ヲモ鎮壓スヘキノミ然ルニ兎角人知不聞ノ風トシテ
動モスレハ奇異妖怪ノ説ヲ致シ圖識呪咀ヲ以吉凶禍

福ヲ變轉スヘシト思ヒ却テ職業ヲ妨ケラレ勉強ヲ欠
キ困窮ニ陥ル者アリ愚昧ノ惑ヒ歎スヘキナリ依テ尙
後圖識呪咀星運賣卜家相人相方位劍相鏡相墨色ハ古
等総テ停止セリ速ニ愚昧ノ惑ヲ脱シ文明ノ域ニ進ミ
正シキ人道ヲ守テ彌勉強各職業ヲ盛大ニ致スヘキ事
附三世相男女相性黄帝ノ四相弘法ノ四目錄星運ノ古
等総テ婦女童兒ノ惑トナルヘキヲ載タル書類賣買
致サ、ル様心得ベシ云々

○敦賀縣管下越前國南條郡武生ニテ新聞會同盟ノ設
ケアリ其報條ニ云フ近來太政官日誌ヲ始メ三都四港

各新聞紙局アリテ人々太政ノ一端ヲ窺ヒ世界事物ノ
變遷ヲ知ルニ足ル嗚呼新聞ノ世ニ益アル其効大ナリ
ト云フベシ然レ氏邊陲僻境ノ地固陋頑愚ノ徒ニ至ッ
テハ新聞紙ノ世ニアルヲ知ラス偶コレヲ知ルモ之ヲ
讀マスシテ遂ニ其知見ヲ博フスル能ハサルハ真ニ悲
嘆ニ堪ヘス因テ同志ト相計リ浴ク三都四港其他ノ新
聞ヲ蒐集シ四方有志ノ人ヲシテ放觀セシム之ヲ名々
テ新聞會ト云フ敢テ射利ノ計ニアラス聊カ我カ開化
ヲ助クルノ微意ナリト云々

- 一至尊御學問ノ事 一立國本張紀綱事 定服製

嚴容貌正學術事 一慎擇人事 一謹外國交際審可辨
 彼我分事 一振興兵氣正軍律事 一明貴賤之分事
 一遠利欲重節義退詐術貴誠實事 一嚴禁淫亂明男女
 之別事 一開言路事 一慎讞獄正賞罰事 一輕租薄
 歛事 一詳量出納事

右ハ小臣積年愚慮ニ有之去ル已巳ノ春暫時上京仕候
 節獻言仕會ニ御坐候處不奉得機會尔来何等ノ御下問
 モ拜兼不仕空シク沈黙仕候然處今般不計モ被為在御
 巡幸奉拜 天顏獻芹ノ微衷難默止候且危急切迫ノ世
 態傍觀坐視ニ不忍因循固陋ノ愚見不被為在御採用御

事トハ奉^ニ恐察候得共此末好機會モ無^レ之ト奉^レ存突然呈
上仕候實以恐縮ノ至ニ御坐候得共方今ノ御政体ニテ
ハ御國運日ヲ追テ御衰弱萬古不易ノ皇統モ共和政
治ノ愚弊ニ被^レ為^レ陷終ニハ洋夷ノ屬國ト可^レ被^レ為^レ成形勢
鏡ニ掛テ拜スルカ如ク嘆息流涕ノ外無^レ御坐候狂妄不
遜犯諱ノ罪ニ於テハ如何様共奉^レ待^レ御明裁候小臣久光
誠恐誠惶頓首敬白

右ハ從三位源久光ノ建言ナリトテ或人示セリ從三位
ハ方今ノ英才天下ノ耳目人々ノ畏服スル所ナリ豈ニ
如此迂^カ腐^フノ議論ヲ發スルモノナランヤコレ必ス一書

生ノ戯レニ作ルモノナラン本文ニ揭示セル件々ノ如
キハ誰モヨク知ル所ナレ氏唯之ヲ行フノ難キヲ以テ
今日凡百ノ官負日夜焦思^ク苦慮^セラル、ナリ果ノ從三
位ノ建言ナラハ彼ノ件々ニ就^ツテ直^ニ行ハル、ノ方法
ヲ設ケ尤モ親切^ニ適宜^ニ辨明セラルベキナランカ
○群馬縣管下甘樂郡富岡へ勸農寮ヨリ製糸場ヲ設ケ
ラレ近日開場相ナルト云
○今般東京鎮臺ノ分營更ニ茨城縣へ置カル、ノ旨御
達シアリタリ

○八月一日ヨリ夕七字便ノ外更ニ午後一字大坂へ出

發ノ郵便御開キ相ナリタリ

○近日府縣ノ議院ヲ東京府下ニ御取設ケ相ナル由

○府下神田橋外美土代町ニ於テ常平社ナル者ヲ取建

食料賄代共上中下三等ヲ別チ又預リ金ノ規則ヲ定メ

日々焚出シ夫々寓舎へ持運ヒ炊婢下僕ノ勞ヲ費サス

飲食腐敗ノ物ヲ供セズ近來至便ノ良法ニシテ遠國來

寓ノ客ハ勿論土地住居ノ人タリ此社ニ入ラハ容易

ニ活計ヲ立ルヲ得ベシ

○元徳川家旗下岡田將監家來日根野直人ナル者先般

通四町目九番借地書林中村屋佐助方ニテ五月廿日或

官員ノ使ト偽リ書物ヲ騙リ取り同廿三日本町四丁目

十五番地所書林吉田屋清兵衛方ニテモ書類ヲ騙リ取

レリ石所所山口縣三好半助或ハ高橋幸助ト申偽リ

タル由然ルニ其後行衛知レサリシカ直人同類并二郎

ナル者六月廿五日第一大區へ捕縛セラレシニ付元徳

川家旗下岡田將監ノ家來ナルヲ相分り岐阜縣ニ於テ

終ニ捕縛セラレタリト云

○淺草邊ニテ人力車ニ乗りシ客強テ迅速テランヲ

責シカハ車丁忿慢シ半町許モ疾行セシガ忽チ車ヲタ

ラシ客ヲフトセリ畢竟殘刻ノ使役ヨリ起リシ事ナレ

ハ客モ怒ルヲ能ハス徒ニ愉快々々ト倉卒金札一枚ヲ
取出シ車下ニ投予ヘシトゾ

○先般愛知縣エ御預ケ相ナリタル異宗ノ徒追々改心
セル者男九十一人女百五人此度本籍へ送歸サル、ニ
付人毎ニ白浴衣地一及ヲ賜ハリ且茶頃中男ハ繩ナヒ
女ハ紡績シテ貯蓄シタル金錢ヲ以旅装シ各雀躍シテ
六月廿四日發程セリト同所新聞ニ見ヘタリ

○英國留學ノ友人ヨリ來書ノ中ニ「佛蘭西ニハ日本品
ヲ賣ル店ハ婦人日本ノ風ヲ模擬セルモノアル由云々
新聞雜誌第五十七號終

報告

○化學要論

杉田玄端先生譯

全部四冊

右ハ西曆一千八百七十一年米國ホストル氏ノ撰ス
ル所ニシテ化學ノ綱領ヲ示スノ書ナリ刻已ニナリ
不日發兌スベシ

書肆

東京日本橋通二丁目
山城屋佐兵衛誌

○英吉利素讀本

初篇 刻成
二篇

此書ハ童蒙單語ヲ學フ者ノ便ニ設クルモノニシテ
文字ヲ大書シ見ヤスカラシメ卷末ニ片假名ヲ以テ
譯解シ遺忘ニ供セリ

賣弘所 東京人形町通松嶋町 若林喜兵衛

○余家二十年来種痘ヲ以テ業トセリ然ルニ先般 官種痘館ヲ設ケラレ私宅ノ種痘ハ御差止ニ相ナリ其以來中絶セシカ今般 官許ヲ得テ本月中旬ヨリ再度開業致シ候間四方令児ノ光来ヲ待ツ

東京深川萬年橋 衆田謹誌

○第五十四號ニ大坂造幣寮ニ於テ出来セル金貨ノ高千二百五十五万五千六百四十七圓ト記載セルハ千四百四十八万八千九百八十一圓ノ誤リナリ看官幸ニ之ヲ恕シ玉ヘ

撰者伏テ四方ノ君子ニ告ガ奉ル本局既 下前ヲ得テ新聞紙ヲ刊行ス其旨意ハ前ニ述ビテ如シ但尚事具聞月日度アリニ多ク讀ムハ同好ノ人何事ニヨラス其書ニ新聞ヲ書集メ本局及官下ニ列スル賣弘慶ニ寄セ玉ハ次第ニ刊行發兌スニ但寄玉フ書付ニ其仕處姓名ヲ必ズ載セ玉フ可シ無名ノ書ハ敢テ采入セズ無根ノ傳言造説等ヲ恐ルナリ

一切書具買ノ弘等塾ニヨリ出散スル事件

- 一 地山林家屋舟車等ノ賣買貸借
- 一 產物器具食品藥劑等ノ賣買
- 一 諸船ノ入湊出帆積荷ノ物等
- 一 店ニテ新規賣出等ノ引札
- 一 觀セモ集會等ノ引札
- 一 新發明巧器及書籍等ノ賣買
- 一 金銀其外ノ貸借等
- 一 失物尋物等
- 一 右等何レモ一行廿三字一度出板價三枚宛同事件二度分八九枚五分
- 一 御引受ノ引札

新聞雜誌定價 雜銀二外 每週出版

當時發兌諸ヨリ先キ二十冊分引受候向八定價ヨリ二割引
同四十冊分ハ三割引

右定ノ通約前金受取候上ハ毎號發兌順序ヲ逐ヒ本局ヨリ御届致
候又遠方取次賣弘方望ミ人ハ本局へ御引合ノ上御相談可申候
本局

東京西園若松町
新 堂

東京高國橋町三丁目

和泉屋金右門

東京芝三島町

和泉屋市兵衛

大塚齋橋通

河内屋吉兵衛

東京東洞院三茶上八町

村上勘兵衛

東京日本橋通書町日

須原屋茂兵衛

大塚心齋橋通

河内屋喜兵衛

大塚心齋橋通

河内屋清七

東京日本橋町

和泉屋仕造

